

カタツムリ・ナメクジ駆除剤

メタルデヒド水和剤（フロアブル）

マイキラー[®]

農林水産省登録 第16688号

性状：白色水和性粘稠懸濁液体

毒性：劇物

有効年限：3年

包装：500ml×20

有効成分：メタルデヒド・・・30.0%

その他の成分：水、界面活性剤等・・・70.0%

マイキラー[®]はサンケイ化学㈱の登録商標です。

特長

- 従来にない液体のナメクジ・カタツムリ防除剤です。従来の粒剤タイプと異なり、水で希釈して散布する薬剤です。一度に広い面積を隙間なく処理できます。（特に、立体的な面にも処理できるので効果的）
- 接触毒作用に優れるので殺菌力が強く、即効的に作用します。薬剤に触れると速やかに効果を発揮し、活動が停止します。
- ナメクジ・カタツムリの種類に関係なく有効です。
これまで効果が確認されたナメクジ・カタツムリの種類。

ウスカワマイマイ、アフリカマイマイ、オカモノアラガイ、オオクビキレガイ、アシヒダナメクジ、コウラナメクジ、フタスジナメクジ、チャコウラナメクジ、ノハラナメクジ

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	メタルデヒド を含む農業の 総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	—	ナメクジ類 カタツムリ類	200倍	200～ 700ℓ	収穫30日 前まで	3回以内	散布	6回以内 (散布は 3回以内)
みかん				100～ 300ℓ	収穫14日 前まで			6回以内 (散布及び 株元散布は 合計3回以内 (但し、株元散 布は 2回以内))
キャベツ			200～ 500倍					6回以内 (散布は 3回以内)
レタス			500倍					
非結球レタス								

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	メタルデヒド を含む農業の 総使用回数
花き類 観葉植物	花き類・観葉植 物栽培温室等の 生息地	ナメクジ類 カタツムリ類	100～ 200倍	100～ 300ℓ	—	6回以内	散布	6回以内
ナメクジ類、 カタツムリ類が 加害する農作物等	ほ場周辺雑草地 の生息地						作物にかか らないよう に土壌表面 散布する	

使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用してください。
- みかん、キャベツ、レタス、花き類、観葉植物以外の一般作物を対象として使用する場合、圃場周辺の雑草地に散布し、作物に直接散布しないよう又、ドリフトに注意してください。

安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じたには直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性作業衣などを着用してください。使用後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼をしてください。

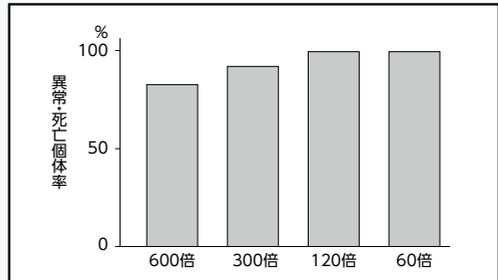
マイキラー技術情報

マイキラーの作用性

マイキラーは接触毒作用により、即効的で高い殺虫効果を示します。

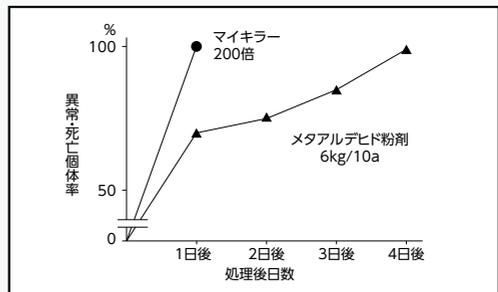
① 虫体に直接処理した場合の効果

供試虫：コウラナメクジ成体
処理法：所定濃度の薬液を腹部と背面にマイクロディスペンサーで5 μ l/1頭滴下。
調査：24時間後に異常・死亡個体数を調査。



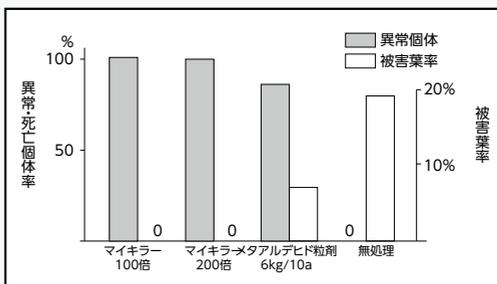
② マイキラーの即効性

供試虫：アシヒダナメクジ
処理法：27cm×20cm、深さ10cmのタッパーに、土壌を1cmつめ、供試虫を放飼後、マイキラーを小型スプレーで散布。粉剤はミゼットグスターで散布。
調査：所定の日数経過後、異常・死亡個体数を調査。



③処理面を徘徊した場合の効果

供試虫：ウスカワマイマイ
 処理法：マイキラーを噴霧器で200ℓ/10a
 散布。(粉剤は手まき) 散布後ポット植ゼラニウムを試験区の中央部に置き、ポットから少しはなれた地表面にマイマイを放飼した。
 調査：5日後に異常・死亡個体数とゼラニウムの被害葉数を調査。



マイキラーの上手な使い方



- 使用前によく振ってからご使用ください。
 - ナメクジ類、カタツムリ類は夕方から朝にかけて活動しますので、活動を開始する夕方の散布をおすすめします。
 - ほ場周辺雑草地の生息地に使用する場合、ナメクジ類、カタツムリ類は雑草の間、石の下や敷きわらの下など暗く湿度の高い場所を好んで生息しますのでそれらの場所に散布すると効果的です。
- その際、作物にかからないよう十分に注意してください。